

## 概要

就職活動は多くの学生にとっての大きな節目となる。特に競争が激しい現代の就職環境では、成功するための戦略や心理的な側面が問われることが増えている。本研究では、近年、多摩大学を卒業し、さまざまな職種で成功を収めている学生たちの行動や心理の特徴に焦点を当てている。

研究の動機としては、多摩大学の学生たちがどのような特徴を持ち、どのような努力や行動が成功に結びついているのかを明らかにすることが挙げられる。一般的に「魅力的な人」とされる人物が、就職活動においてどのような特性や行動を持っているのか、また、行動や努力が必ずしも成功に結びつかないのではという点に疑問を持ち、これを解明することが本研究のモチベーションである。さらに、得られた結果をもとに、後輩たちへの有益な情報やフィードバックを提供することも念頭に置いている。

研究対象としては、本論文執筆時点で就職活動を終えたもしくは活動中の学生たちである（4年生、3年生）。本研究では、彼らの経験や行動をもとに、心理的側面、行動的側面、戦略的側面、そして社会的・文化的側面の4つの視点から分析が行われる。

結論として、就職活動に成功するための行動や心理の特徴を洗い出し、これをもとに効率的な就職活動の方法を示すことがこの研究の最終的な目的である。得られた知見は、将来の就職活動を控える多摩大学の学生たちへの貴重な情報提供となることが期待される。